

株式に関するお手続きについて

証券会社などの口座に記録された株式

お手続き、ご照会などの内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物などの発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ● 住所・氏名変更などの上記以外のお手続き、ご照会 	口座を開設されている証券会社などにお問合せください。

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会などの内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> ● 特別口座から一般口座への振替請求 ● 住所・氏名などのご変更 ● 特別口座の残高照会 ● 配当金の受領方法の指定* 	特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物などの発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人 手続き書類のご請求方法 インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/

※ 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

パーソルホールディングス PERSOL

東京都港区南青山1-15-5 パーソル南青山ビル TEL 03-3375-2220(代表)

※ 本報告書に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があり、その確実性を保証するものではありません。



この印刷物は「FSC®認証紙」と「植物油インキ」を使用しています。



はたらいて、
笑おう。



株主・投資家の皆様へ

株主通信

パーソルホールディングス

2021年3月期上半期のご報告

2020年4月1日 ▶ 2020年9月30日

はたらいて、 笑おう。



PERSOL HOLDINGS CO., LTD.



私たちパーソルグループは、「はたらいて、笑おう。」をグループビジョンに、人材派遣サービス、転職サービス、ITアウトソーシングや設計開発など、人と組織にかかわる多様なサービスを提供しています。さらにそれにとどまらず、人とテクノロジーの融合による次世代のイノベーション開発、またアジア・パシフィック地域におけるサービス展開にも積極的に取り組んでいます。

株主通信 2021年3月期上半期のご報告



代表取締役社長 CEO
水田 正道

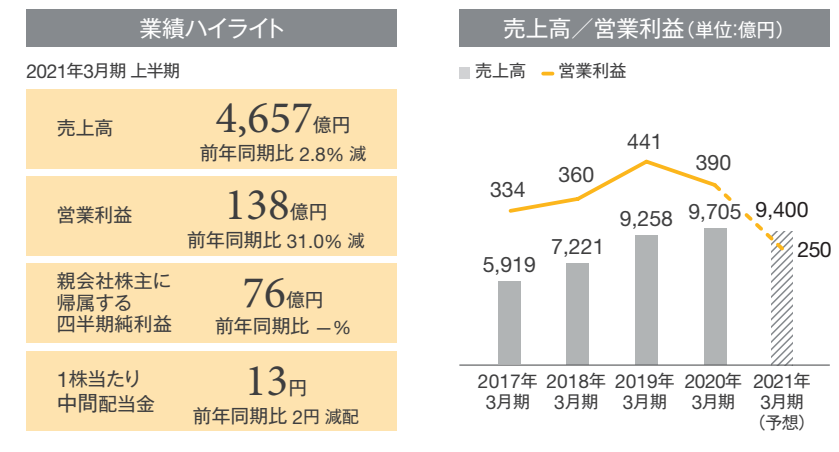
いつの時代も主役は「人」。
自分らしくはたらく人と企業を結ぶ
雇用のインフラに。

雇用環境の変化が加速化した当上半期

新型コロナウイルス感染拡大のまっただ中でスタートした2021年3月期は、「同一労働同一賃金」の法改正に対して、多くの顧客企業さまにご理解・ご同意いただきましたこともありStaffing SBU(Strategic Business Unit)では増収となりましたが、新型コロナウイルスの影響を受けたCareer SBUとAsia Pacific SBUで売上が減少したことにより、当上半期の売上高は4,657億円、営業利益は138億円と、前年同期に比べ減収減益となりました。

足元では、これまで右肩上がりに上昇してきた有効求人倍率が急速に悪化し、人材サービス市場の先行きを不安視する声も聞かれます。しかし、私は、今後、雇用環境が悪化するとは考えていません。

なぜなら、国内の労働力人口が減少していくのは事実であり、その中で、経済



パーソルホールディングス
IRサイトのご案内
詳細な財務データについては、
パーソルホールディングスのIR
サイトをご覧ください。



IRサイトは
こちらから
どうぞ





新たな中期経営計画を策定。 「はたらいて、笑おう。」実現に向けて 社会への価値提供を推進します。

の持続的成長を実現しようとするならば、さらなる労働参加を促し、一人一人の生産性を向上させることが不可欠だからです。「雇用のミスマッチ」を解消するため、「人材の流動化」を図ることも一層必要となるでしょう。新型コロナウイルスは、雇用環境の変化をスピードアップさせ、人材サービス事業を担う企業の役割をより大きくさせたのではないかと考えています。

多様性に対応することで、社会的価値を創造する

新型コロナウイルスは我々の生活だけでなく、はたらき方も大きく変えました。多くの企業が導入したテレワークは、仕事の性質上、できない職種はあるものの、アフターコロナにおいてもそのまま定着すると考えています。また、2030年を見据えて「はたらく」ことを考えると、少なくとも3つの変化が起こるのではないかと考えます。

1つ目は、日本人の平均年齢が50歳を超えることです。当然ながら労働力人口も減少し、はたらく方々は生産性を保ちながら、より長く、より柔軟にはたらき続けなくてはなりません。はたらく目的や、やりがいも重要な論点です。高い成果を出すためには、AIなどの新しいテクノロジーがさらに積極的に活用されることになるでしょう。

そして2つ目は、生産性を向上させるために導入されたAIやシステムに、多くの仕事が置き換えられることです。ただ、これは仕事が失われるという

よりは新たな価値に転換されるということです。時代の変化やテクノロジーが進化をもたらすのは世の常であり、その一方で、人にしかできない仕事に注力できるというメリットがあることも忘れてはいけません。

3つ目は、そもそもの雇用の在り方が変わる可能性があることです。人材の流動化が進めば、雇用形態に縛られないスタイルではたらく人が増え、日本でも真の多様化が実現します。

仕事は、人に未来への「安心」を与えます。社会の秩序を保つために、この安心は欠かすことができません。パーソルグループも、さまざまなはたらき方をする人々が安心してはたらける環境を整えるとともに、蓄積した知見を活かして、年を重ねてもはたらきがいを感じられる職場を作るなど、サポート体制を強化し、社会に必要とされる企業として在り続けたいと考えています。

新中期経営計画では、ガバナンス体制をさらに強化

当社グループが、雇用を守る重要なインフラになるための第一歩目が、このたび策定した新中期経営計画です。2030年に向けた、最初の3年であるグループ中期経営計画2023は、事業の磨き込みと経営基盤の整備による成長に向けた基礎作りを行う3カ年と位置付けました。グループビジョン「はたらいて、笑おう。」を実現するため、社会的価値や経済的価値の向上、テク

ノロジーによる事業強化などの方針を掲げています。また、企業価値向上のための財務方針、ガバナンス方針も策定いたしました。その中でも、私が最も重要だと考えているのは、ガバナンス体制の強化です。

まず、独立社外取締役の比率を、原則として2分の1以上にいたしました。専門知識を持つ社外取締役が、忌憚のない意見を交わす場には緊張感があり、私自身、襟を正す気持ちで取締役会に臨んでいます。また、投資やリスクマネジメント、人事についてもグループ横断の委員会を設置いたしました。当社グループの信頼や魅力を高めるとともに、意思決定の迅速化を図ることで、長期的な成長を支えてくれると確信しています。

配当につきましては、今期より、配当性向を重視した配当方針へ移行し、調整後EPSの25%を基本方針とし、株主還元を強化してまいります。しかしながら、今期は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け一時的に業績が落ち込むため、中間配当は1株当たり13円、期末配当は同13円を予定しておりますが、中期経営計画最終年度の2023年3月期に数値計画を達成した際には、過去最高の株主還元を実現できる見込みです。



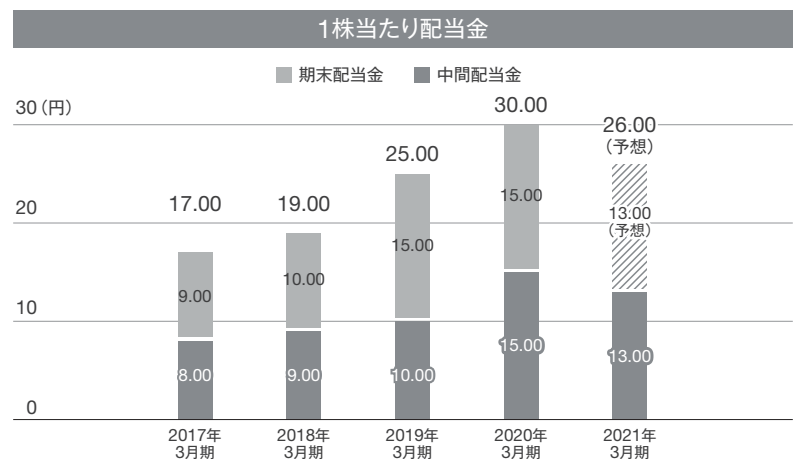
主役である「人」と企業をテクノロジーとアナログでつなぐ

人は合理的なだけでは生きていけません。人とのつながりを感じながら生き、時には誰かに背中を押してもらいたいと思うこともあるでしょう。私もそうです。

だからこそ、当社グループは、これからも一人一人と向き合い、信頼関係を築きながら、はたらく方々と企業をしっかりと結びつけるという責任を果たしていきたいと思っています。いくらテクノロジーが進化しても、仕事がなくなることはありません。そして、未来においても「人」が主役であり、テクノロジーは主役をサポートする役割であることに変わりはないのです。

当社グループは、デジタルの時代だからこそ、人が介在するというアナログの良さも持ち合わせた企業として、社会的課題を解決し、多くの価値を提供し続けられる存在でありたいと考えています。

ステークホルダーの皆さまにも、当社グループの未来に期待し、さらなるご支援をいただければ幸いです。どうぞ、今後とも末永くよろしくお願いいたします。



事業概況

2020年4月1日より、経営判断の迅速化とガバナンスシステムの充実の両立を目的として、SBU(Strategic Business Unit)体制に移行いたしました。

人と組織を最適につなぐ「Staffing SBU」と「Career SBU」、人と技術の力で豊かな社会づくりに貢献する「Professional Outsourcing SBU」、世の中の最先端をサービス化し人の可能性を広げる「Solution SBU」、そして海外において人と組織を最適につなぐ「Asia Pacific SBU」という5つのSBU体制にて、グループ一丸となってグループビジョン「はたらいて、笑おう。」の実現を目指してまいります。

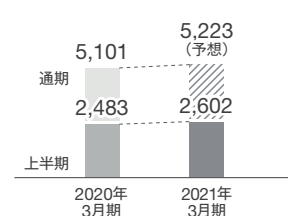


Staffing
Strategic Business Unit

上半期のポイント

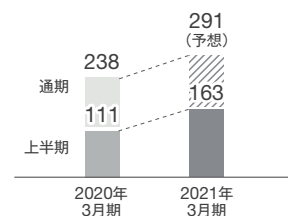
前年同期に比べ稼働日が1日増加したことに加え、同一労働同一賃金の対応による請求単価の上昇、さらに収益性の高いBPO事業において受託案件が増加し、採算が改善した結果、増収増益となりました。

売上高(単位:億円)



前年同期比
+ 119 億円
+ 4.8%

営業利益(単位:億円)



前年同期比
+ 51 億円
+ 46.2%

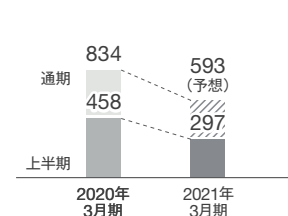


Career
Strategic Business Unit

上半期のポイント

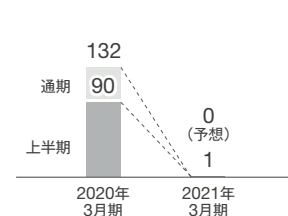
主に人材紹介事業で新型コロナウイルス感染拡大による企業の採用意欲の減退傾向を受けたことに加え、「an」事業の撤退(2019年11月)により減収となりました。利益面は、コスト削減を実施したものの、減収の影響を受け、減益となりました。

売上高(単位:億円)



前年同期比
△ 160 億円
△ 35.1%

営業利益(単位:億円)



前年同期比
△ 89 億円
△ 98.5%

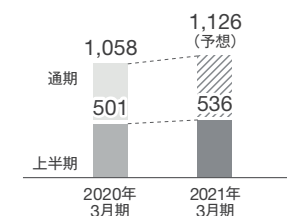


Professional Outsourcing
Strategic Business Unit

上半期のポイント

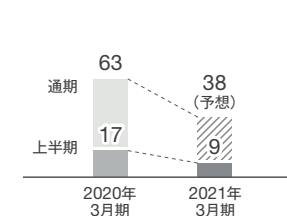
IT領域で旺盛な需要が続いたことから全体で増収となりました。一方、利益面は、期初に人員拡充を行ったことで人件費が増加したこと等により、減益となりました。

売上高(単位:億円)



前年同期比
+ 35 億円
+ 7.1%

営業利益(単位:億円)



前年同期比
△ 7 億円
△ 42.5%

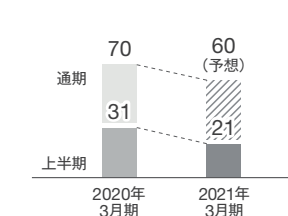


Solution
Strategic Business Unit

上半期のポイント

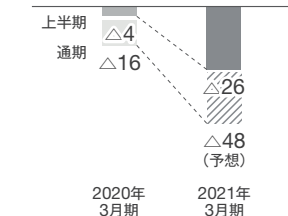
新型コロナウイルス感染拡大による企業の採用意欲の減退傾向や、飲食店への自粛要請等の影響を受け、減収となりました。また利益面は前期からの投資拡充によるコスト増加により営業損失となりました。

売上高(単位:億円)



前年同期比
△ 9 億円
△ 31.3%

営業利益(単位:億円)



前年同期比
△ 22 億円
— %

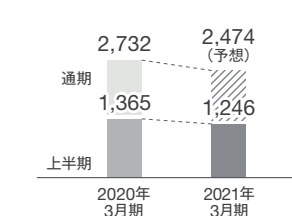


Asia Pacific
Strategic Business Unit

上半期のポイント

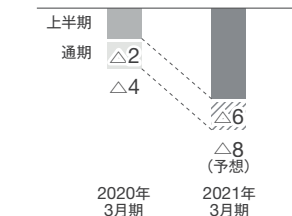
シンガポールで人材派遣事業が伸長したものの、APAC全域で収益性の高い人材紹介事業が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたこと、加えて豪ドル安の影響により減収、利益面は営業損失となりました。

売上高(単位:億円)

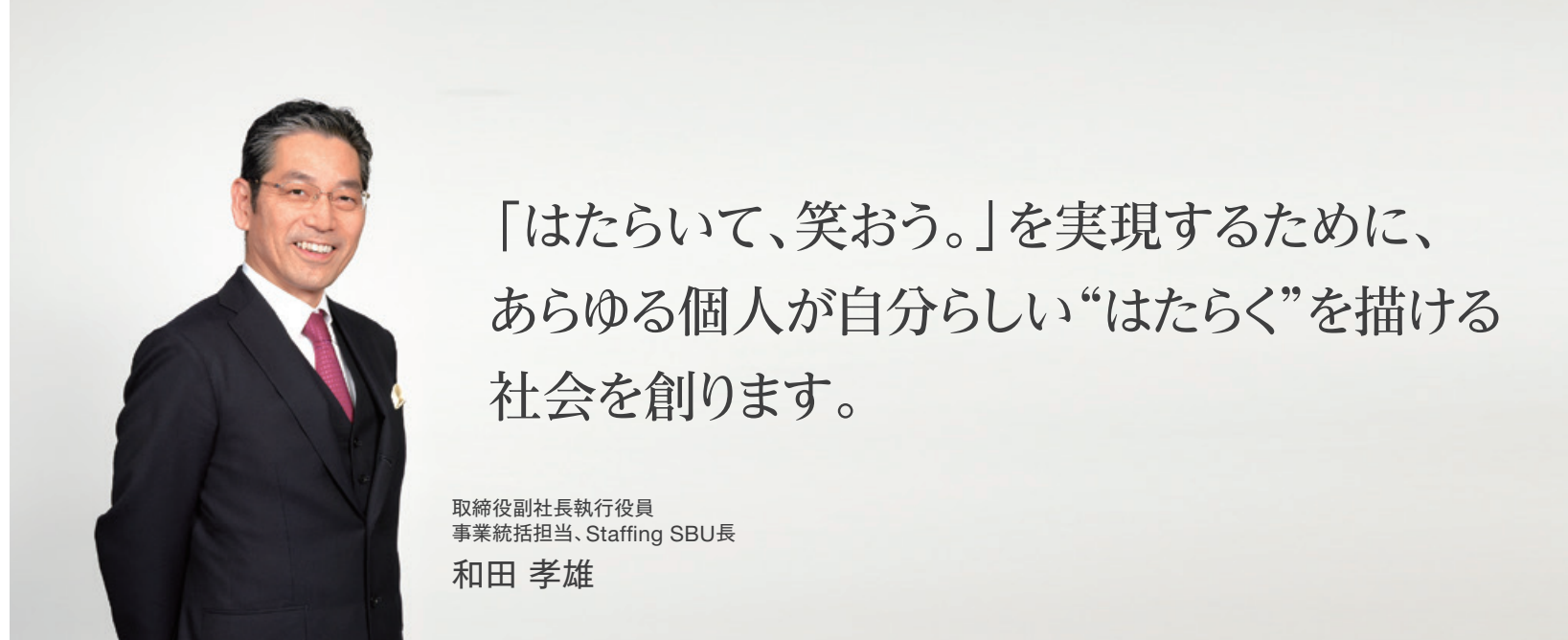


前年同期比
△ 119 億円
△ 8.7%

営業利益(単位:億円)



前年同期比
△ 3 億円
— %



取締役副社長執行役員
事業統括担当、Staffing SBU長

和田 孝雄

「はたらいて、笑おう。」を実現するために、あらゆる個人が自分らしい“はたらく”を描ける社会を創ります。

2030年に向けて グループビジョン「はたらいて、笑おう。」を実現していきます

人口が減少し、3人に1人が65歳以上の高齢者になる一。
これは、2030年の日本が向き合わなくてはならない厳しい現実です。労働力人口が減少すれば、はたらく人を取り巻く環境も大きく変わり、私たちはこれまでより長く、そして深く、仕事とかかわることになるでしょう。
この2030年を見据えてパーソルグループが導き出したのは、「はたらいて、笑おう。」というグループビジョンです。個人はもとより、はたらき方の多様性はさらに広がり、生き方すらも変わる、まさに“はたらくことは、生きること”という時代に、当社グループはしっかりと“個人”にフォーカスを当てていきます。あらゆる個人が、ただ与えられた仕事をこなすのではなく、主体性を持った生き方をしていただけるように生涯寄り添い続けること。そして、“はたらく”における選択肢が増え、自分で選びとれるようになること。これが、当社グループが目指す社会であり、私たちがらしい社会的価値の創造だと考えています。

“個人”にフォーカスすることを重点戦略とした、 中期経営計画を策定

「はたらいて、笑おう。」の実現に向けた第一歩目となるのが、今回策定した中期経営計画です。
「“個人”にフォーカスする」、「テクノロジーを武器にする」、「世界で価値を提供する」の3つを重点戦略に掲げた中期経営計画の中で、一丁目一番地はもちろん「“個人”にフォーカスする」ことです。
我々がまずすべきことは、個人に対して、はたらく場はもちろん、はたらき方やはたらく仲間など、たくさんの選択肢を用意し、多くの人々が、自分で選んだ場所で仕事を通じて成長できる、その入り口を提供することです。
入り口は、例えば学校を卒業後のはたらき始め、子育て中と子供が手離れした後など、人生のフェーズごとによっても異なりますし、歳を重ねてからもそうでしょう。当社グループは、これまで多くの企業さまとお取引をする中で、職場の環境や人事制度、繁忙期や業種特性など、仕事を取り巻く情報を蓄積してきま

した。その大きな情報のネットワークとマッチング能力とで、はたらく人のその時々ライフサイクルに最適な選択肢を提案することができると考えています。
もちろん、やりたい仕事だけを100パーセントできるわけではないでしょう。しかしながら、できる限りミスマッチを修正し、はたらく意欲のある人に、はたらく場と成長機会を提供できれば、企業の生産性や企業価値の向上につながります。4万社を超える顧客企業とつながっている当社グループだからこそ、個人の人生に生涯伴走し続ける「雇用のインフラ」になれると確信しています。

世界中で「はたらいて、笑おう。」指標を測定 2021年秋ごろに結果公表予定

“はたらく”が笑顔につながる社会を実現するためには、当社グループのビジョン「はたらいて、笑おう。」を、多くの人にご理解いただくことだけでなく、共感を高めながら、世界中で「はたらいて、笑おう。」の認知度を上げていく必要があると考えています。
そのためにまず、世界30数カ国に拠点を設けて世論調査などを行っているGallup社と提携し、全世界を対象とした「はたらいて、笑おう。」指標を定め、測定した結果を公表して、はたらくことにおけるWell-Beingへの意識を高めていく取り組みを開始いたしました。
「日々の仕事において、喜びを感じていますか」、「仕事が日々の生活をよくすることににつながっていますか」、「仕事を多くの選択肢の中から選んでいますか」の3つを世界中のはたらく個人に問いかけ、集計した答えを、分析し発信していきます。その結果、個人の「はたらいて、笑おう。」という意識を高めることにつながり、なおかつ、今の自分が「はたらいて、笑おう。」の何合目に達しているのかを確認することもできるでしょう。
現在、世界での調査も順次進めており、さまざまな国からの声が続々集まり始めています。新型コロナウイルス感染拡大の影響もあって、発表時期は多少

前後する可能性もありますが、全世界の調査結果は、2021年9月頃の発表を予定しています。

個人が主役の時代に、 自分らしい未来を描く「はたらく未来図構想」

理想のはたらき方は一人一人違うものであり、自分で選んで努力したからこそ、最後には笑顔になれるのです。そこで当社グループでは、個人が“自分のはたらくを自分で決める”ことをサポートする「はたらく未来図構想」を構築することにいたしました。これは、仕事を探すタイミングでのみ利用する従来のサービスを超え、まずは自分自身を知るところから始まり、その先に、学びやさまざまなライフ領域にわたり、はたらくことすべてにかかわる情報や知識を得たり、生涯にわたって利用し続けることでそれぞれの体験価値を蓄積していく仕組みです。世の中には情報があふれていますが、「はたらく未来図構想」では、



はたらくことに対する正しく、適切な情報を得ることができる、はたらく人の“はたらくための未来図”が描けます。多くのはたらく方々の人生をより豊かにするために役立ってくれるはずです。

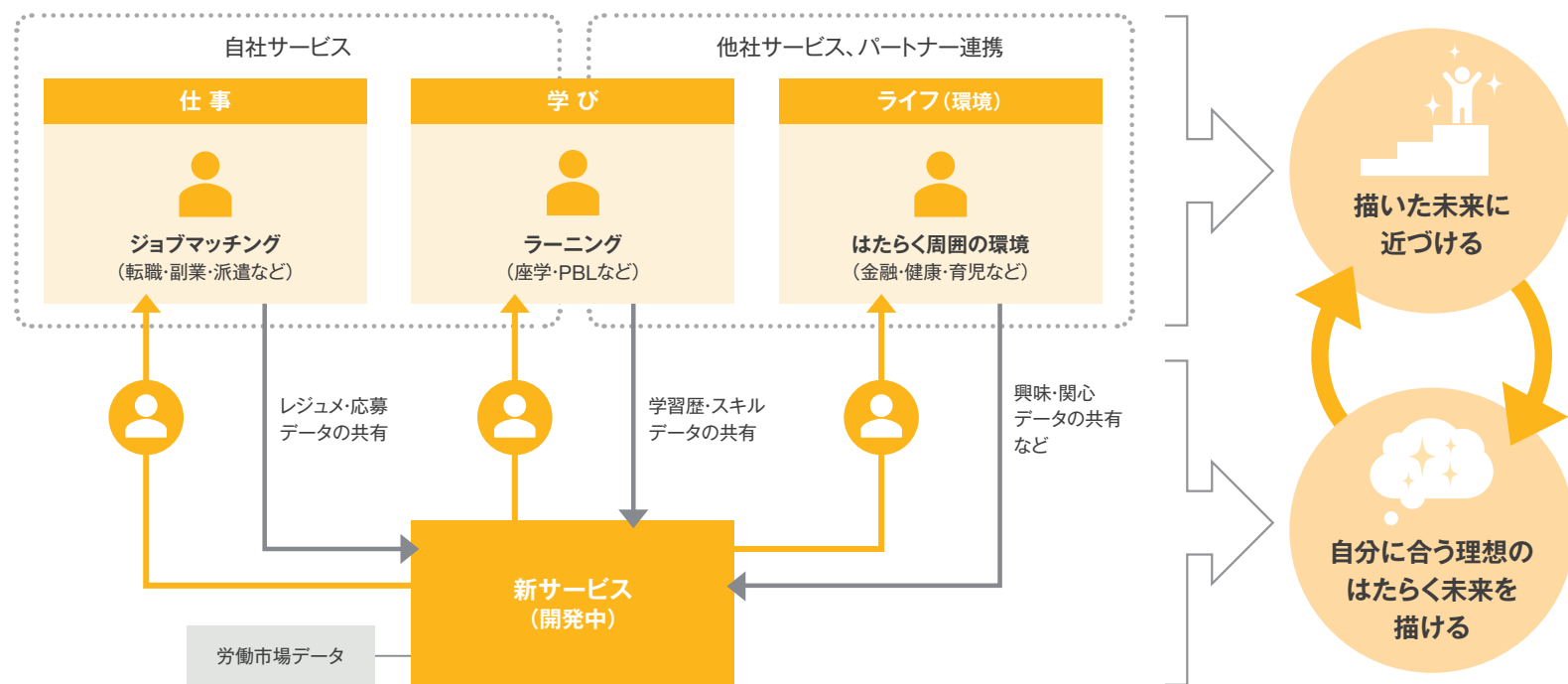
また、当社グループにとっても、初めての仕事選びからキャリアアップ、転職など、長い人生にずっと寄り添い続けるための重要なツールとなってくれる

でしょう。具体的なサービス開発や、外部パートナーとの連携を順次開始しています。

当社グループは、これからもさまざまなアイデアではたらく皆さんを応援し、皆さんの理想のはたらし方を実現していきます。2030年、多くの人の「はたらいて、笑おう。」のために。

はたらく未来図構想

使い続けるほど、そのユーザーに適した体験価値を提供できる



会社概要 (2020年9月30日現在)

会社名	パーソルホールディングス株式会社 PERSOL HOLDINGS CO., LTD.	
設立	2008年(平成20年)10月1日	
本社事業所	東京都港区南青山1-15-5	
本店所在地	東京都渋谷区代々木2-1-1	
事業内容	労働者派遣事業・有料職業紹介事業等の事業を行うグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務	
資本金	17,479百万円	

役員一覧 (2020年9月30日現在)

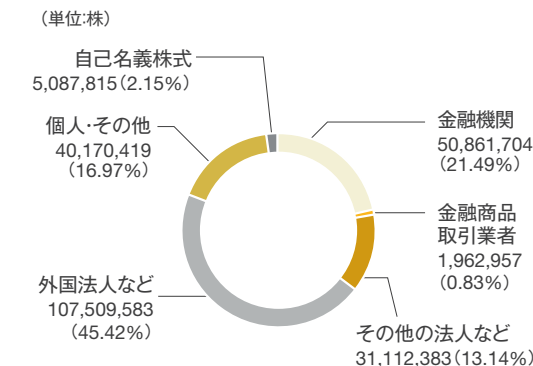
名誉会長	篠原 欣子
代表取締役社長 CEO	水田 正道
取締役副社長執行役員 (事業統括担当、Staffing SBU長)	和田 孝雄
取締役副社長執行役員 (機能統括担当、Solution SBU長)	高橋 広敏
社外取締役	玉越 良介 西口 尚宏 山内 雅喜
取締役 (常勤監査等委員)	小澤 稔弘
社外取締役 (監査等委員)	榎本 知佐 友田 和彦

株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	720,000,000株	
発行済株式の総数	236,704,861株	
株主数	8,938名	
大株主	株主名	持株数(株) 持株比率(%)
	篠原 欣子	26,331,600 11.36
	一般財団法人 篠原欣子記念財団	15,800,000 6.82
	日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	15,092,200 6.51
	株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	12,555,700 5.42
	JP MORGAN CHASE BANK 385632	9,889,823 4.26
	ケリーサービスジャパン 株式会社	9,106,800 3.93
	THE CHASE MANHATTAN BANK 385036	7,557,053 3.26
	JP MORGAN CHASE BANK 380072	5,957,159 2.57
	SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	5,713,041 2.46
	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	5,016,469 2.16

※ 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を除いた株式数(231,617,046株)を基準に算出しております。
※ 持株比率(%)は小数点第3位を切り捨てております。

株式所有者別分布状況 (2020年9月30日現在)



※持株比率(%)は小数点第3位を四捨五入しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月下旬	
基準日	定時株主総会	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) URL https://www.tr.mufg.jp/daikou/	
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)	
公告方法	電子公告 公告掲載URL https://www.persol-group.co.jp (ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。)	